



10/8 きれいな海・川は森林づくりから さけの森林づくり活動(大場沢字熊登山)



▲丁寧に植樹することもたち

豊かな水産資源は、きれいな水、豊かな森林からということで、今回23回目を迎えた、さけの森林づくり活動。参加した朝日緑の少年団の団員は、堆朱の材料にもなる「ほおの木」の苗木を植樹し、森林に触れ合いながら学んでいました。さけの森林づくり推進協議会副会長の佐藤克雄さんは、「植樹した苗木は雪に耐えながら、立派に成長します。子ども達も、忍耐強く成長して欲しい」と語っていました。

10/9 避難所生活の中、笑顔のひと時 仮設住宅で炊き出し支援と陶磁器食器青空市(羽ヶ榎応急仮設住宅)



▲おいしい食事の提供に笑顔



▲さまざまな食器の提供をいただきました

仮設住宅での避難生活が続く中、日頃のストレスを少しでも和らげようと、村上商工会議所青年部といわふね青年会議所による、仮設住宅の入居者に向けた炊き出し支援が行われました。

秋晴れの中、スタッフからおにぎりや特製のラーメンを受け取り、被災者の皆さんからも笑顔がこぼれました。

また同日、石川県の三谷産業株式会社様、ニッコー株式会社様より、「生活再建の一助になれば」と食器の無償提供がありました。

被災者の皆さんは、ホテルなどでも使用されている食器を手に取り、「大変ありがたい」「助かります」と感謝の声を口にしていました。

10/12 募金活動を通して人と人、人と森をつなげる 村上小学校6年生が街頭募金(三之町六斎市)

六斎市の会場で、緑の募金関係団体の職員と村上小学校6年生による「緑の募金」の街頭募金が行われました。

参加した子どもたちからは、「募金お願いします」と六斎市を訪れた方に大きな声で募金を呼び掛け、募金をしてくれた方には、「ありがとうございます」の元気な声と緑の羽根、ユキツバキやブルーベリーの苗木を手渡していました。



▲大きな声で募金を呼び掛けました

9/17~18 町屋通りが人でにぎわう ゆかたでいざよい町屋通り(越後村上町屋通り:中央商店街)

町屋の屏風まつりが開催されている町屋通りで、演奏会や振る舞い酒、お茶会などが行われるイベント「ゆかたでいざよい町屋通り」が2日間にわたり開催されました。

イベントでは、浴衣のレンタル・着付けのサポートもあったことから通りには浴衣姿の人も見受けられ、人力車に乗車した光景は町屋の歴史的建物に溶け込み、訪れた人たちの目を引き付けていました。



▲浴衣姿が映える町屋通り

9/20 身近な練習場所ができました 朝日スケートパークOPEN(旧朝日テニスコート)



▲ボックスやレールなどのセクションもあります

朝日多目的グラウンド脇の旧テニスコートを利用して試行的に開放している「朝日スケートパーク」では、早速練習に励む人の姿が見られました。

子育てが落ち着いたのを機に、再びスケートボードを始めたという市内在住の男性は、「路面も良く滑りやすい。こういった場所があるのはありがたい」と話し、設置されたボックスで技を決めようと、何度も挑戦し、楽しんでいました。

9/20 3年ぶりの開催で神輿担ぎ威勢よく「ヨイサッ！ホイサッ！」 塩谷大祭(塩谷集落)

塩谷集落で3年ぶりに塩谷大祭が開催されました。平安末期の承安3年(1173)に創建された鹽竈神社の秋例祭で、湊町であることから大漁祈願、航海安全を祈願するお祭りです。

当日は鹽竈神社を出発し、神輿を担ぐ男衆の威勢の良い掛け声とともに集落の家々を練り歩きました。また後から追いかけるように小学生が担ぐ子ども神輿も巡行し、集落全体が大いに盛り上がりました。



▲約800kgもある神輿を力強く担いでいました

9/27 元気に走って笑顔いっぱい 運動会(山北そらいる保育園)



▲親子で協力してゴール

秋風も心地よく過ごしやすい天気恵まれて、練習を重ね楽しみにしていた運動会が行われました。

園児たちが事前にペットボトルを再利用して作成したマラカスや旗、拍手による応援を受け懸命に走る園児たち。使用した道具を楽しく片付ける競技も行われ、工夫をこらした運動会は、園児たちも応援する家族も笑顔にあふれていました。